


Link つながる Live 生きる Learn 学ぶ Labour 労働 Liberty 自由

エル  コンパス宝塚市立男女共同参画センター・エル 2019年11月 **Vol.40**

宝塚市立男女共同参画センター・エルは、すべての人が個人として、性にとられず、自分らしくいきいきと充実した生活を送ることができる「男女共同参画社会」の実現を目指すための施策推進の拠点施設です。センターの愛称“エル”は上記の5つのLの頭文字をとったもので、市民からの公募で決定しました。

特集**データでみる ジェンダー格差と女性の貧困**

概略「写真で伝える世界、東北の今」 フォトジャーナリスト 安田菜津紀さん	P.1
特集：データでみるジェンダー格差と女性の貧困	P.2～P.4
講座案内：12～3月	P.4～6
情報図書：新刊案内	P.7
施設利用案内	P.8

「写真で伝える世界、東北の今」

宝塚市男女共同参画プラン推進フォーラムの講演より（2019年10月14日）



フォトジャーナリスト
安田 菜津紀さん

女性が紛争地に入るのは危険では？とよく言われますが、男性ジャーナリストが、家庭の中に入って取材するのは、イスラム圏などでは非常に難しい事です。女性が単独で行けば、日常生活に近いところで弱い立場にいる女性や子どもたちの声を聞くことができます。

高校2年の時「国境なき子どもたちの友情のレポーター」としてカンボジアに足を運び、同世代の子どもたちが人身売買の被害にあっていることを知りました。実際に会って話をしたことで一気に身近な問題に変わりました。自分の知ったことを多くの人とシェアすれば問題の解決により近づくことができるのではないかとフォトジャーナリストを志しました。

過酷な現実を取材するうちに、写真家ではなく医師を志していたら、あるいはNGOで働くことにしていたら、もっと直接的に人々を助ける事ができたのではと思うこともありましたが、紛争地のNGOの方に言われた「現場では、日々の活動に追われ『伝える』ことに力を注げなくなる。支援には規模の大小はあっても優劣はない」との言葉に、私は「伝える力」という役割を持ち寄るのだと胸に落ちました。

東日本大震災が発生した2011年3月、シリアで内戦が勃発しました。

内戦前のシリアは治安が安定し、多くの旅行者が行き交う美しい国でした。現在国内外の避難民は1100万人以上。兵庫県の全人口の2倍です。元のシリアの人口は2200万人なので実に国民の半数が家を追われているのです。

陸前高田の仮設住宅の集会室で、シリアの冬は積雪もあり、大寒波で凍死したり健康を害する子どもが多数いるという話をしたところ、被災者の皆で子どもたちに送る服を段ボール10箱分も集めてくれました。衣類の支援は難しいと言われていますが、物資を受け入れてきた経験を活かし、受け手の立場にたって心を込めて分類梱包してくれました。

空襲、チリ地震津波、東日本大震災と人生で3度も避難生活を余儀なくされた高齢の女性は、「それでも国を追われてまではない、シリアの人たちのほうが辛いに決まっている。」と笑顔で中心的役割を担ってくださいました。仮設の自治会長さんはご自身の自宅の再建もままならない中「ある日突然故郷が傷めつけられ、隣にいた人がいなくなってしまう痛みはよく知っている。ましてや自然災害ではなく人による戦争であればどれほど辛いかわからない。想像したその先にシリアがあった。自分たちもこれまで世界中の人からの支援により立ち上がってきたから、こんどはその恩送りをしたい。」と言われました。

非常事態は日頃から脆弱な立場にあるものをますます追い込みます。シリア難民を最も苦しめ追い詰めるのは世界からの無関心です。「伝える」という私の役割を持ち寄り、誰もが備える想像力という尊い力を呼び起こし、分かち合う輪を広げていきたいです。

特集

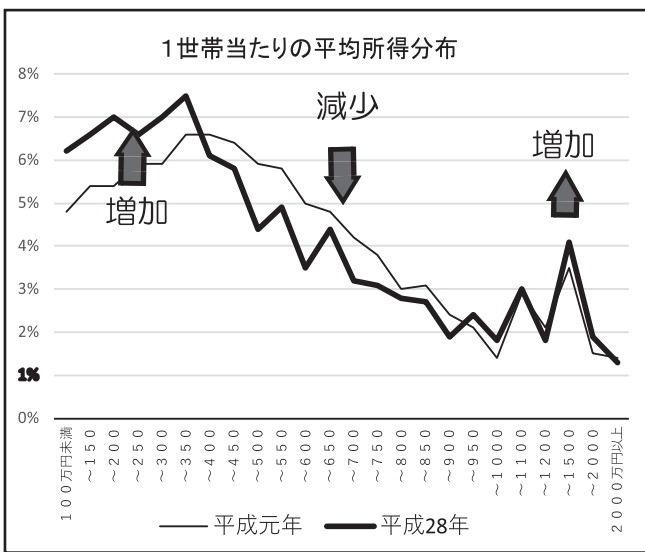
データでみる ジェンダー格差と女性の貧困

平成の30年間で格差が広がり、今や日本は1000万人近いアンダークラス（家計を補助するためのパート、非常勤の役員や管理職を除いた非正規雇用の労働者）を底辺とした階級社会に突入してしまっていると言われています。戦後最長の景気拡大と言われながら実感を伴わなかった私達の暮らしを、ジェンダー格差や貧困にフォーカスして統計のデータから振り返ってみました。

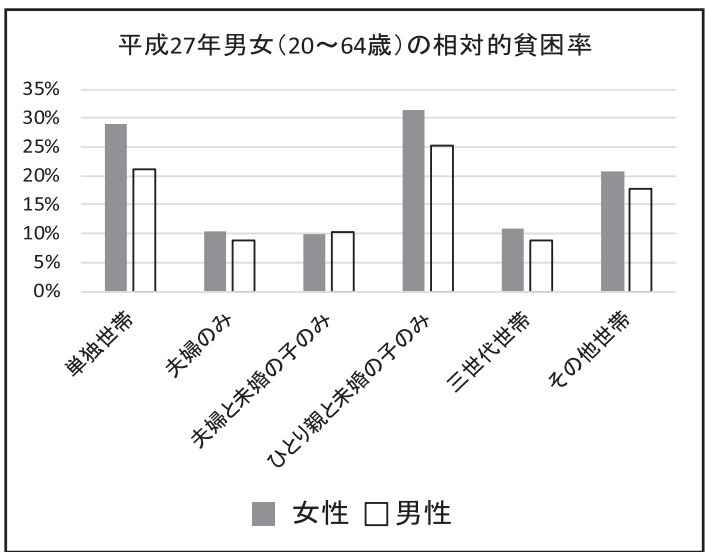
格差が広がった日本の社会

平成元年と平成28年の1世帯あたりの平均所得分布を比較すると、所得400万～900万の中間層が減少し、350万円以下の層と1500万以上の層が増えて格差が広がったのがわかります。

国民生活基礎調査（平成28年）の結果によると日本の相対的貧困率は15.7%、子どもの7人に1人、ひとり親世帯の2世帯に1世帯、単身女性の3人に1人が相対的貧困にあります。



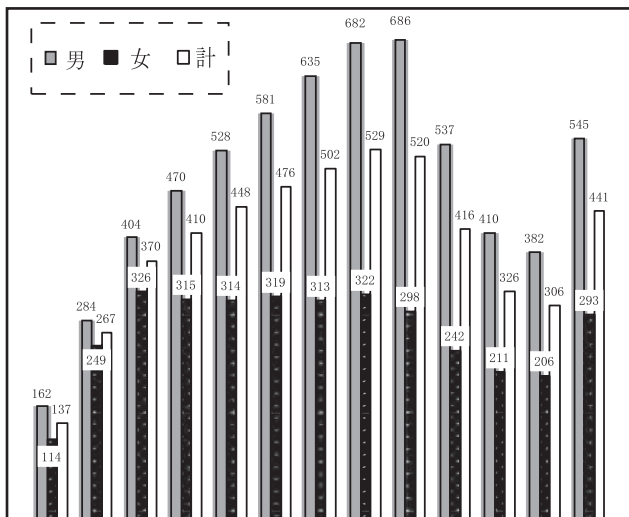
厚生労働省 国民生活基礎調査結果(平成28年)より作成



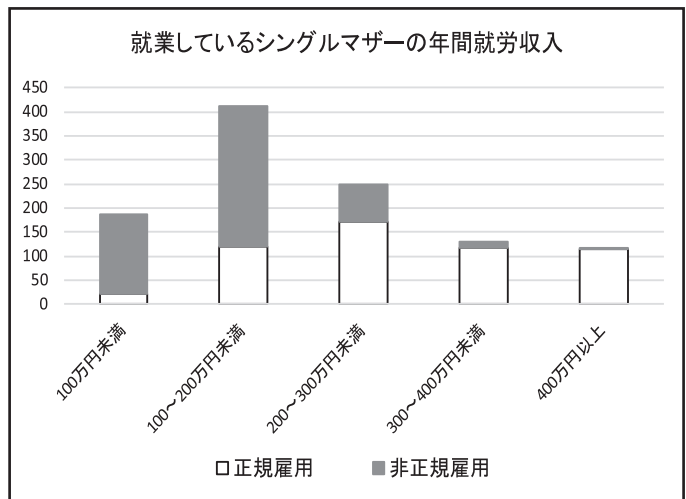
阿部彩(2018)「日本の相対的貧困率の動態：2012から2015年」科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（基盤研究（B））「「貧困線のフロンティアを構築する研究」報告書数値を引用し作成

依然として低い女性の収入

平成28年の調査ではフルタイムの勤務者でも給与格差は男性10：女性7で、まだまだ仕事と家庭の両立のために昇進を阻まれたりあきらめる女性が多い状況です。就業しているシングルマザーの半数を占める非正規雇用の労働者の平均年間就労収入は133万円と大変厳しい現状です。



年齢階層別の平均給与
国税庁 平成30年分民間給与と実態統計調査より



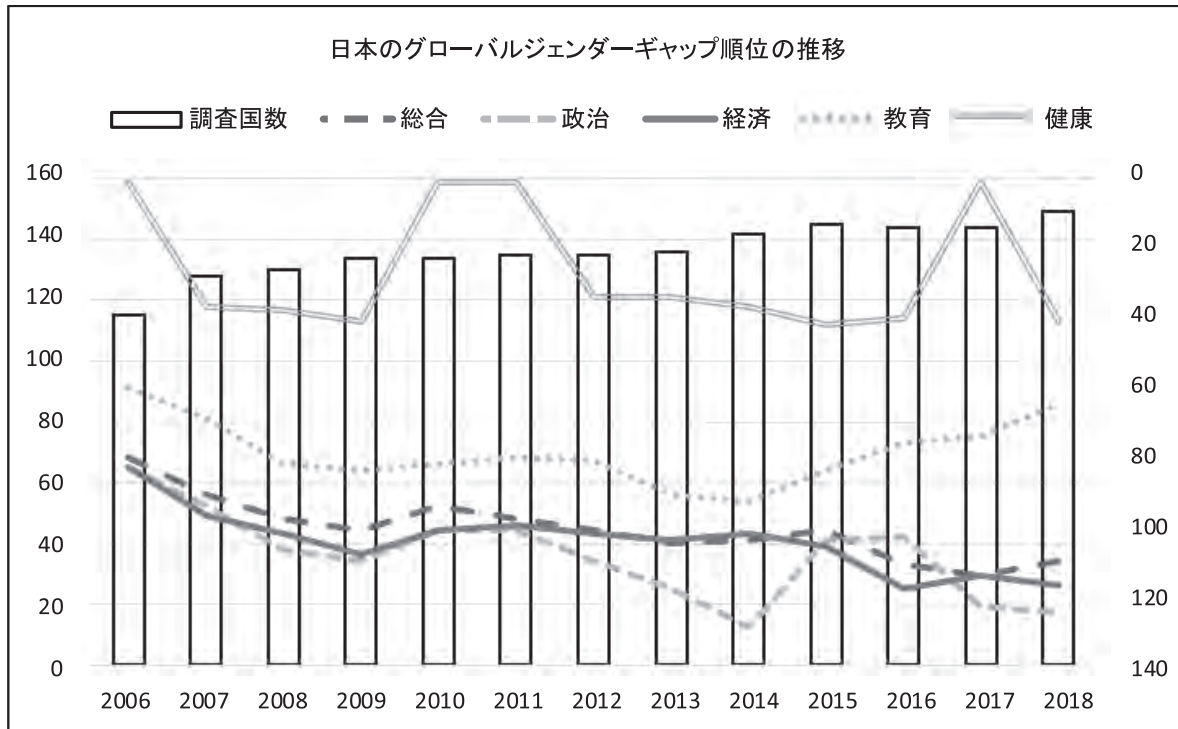
出典：政府統計の総合窓口(e-Stat) (<https://www.e-stat.go.jp/>)
厚生労働省 平成28年度全国ひとり親世帯等調査
「現在就業している母の地位別年間就労収入の構成割合」を加工して作成

特集

データでみる ジェンダー格差と女性の貧困

政治・経済分野の大きなジェンダーギャップ

世界経済フォーラムが公表した「The Global Gender Gap Report 2018」ジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index：GGI）では日本は総合で110位と、過去最低だった2017年の114位より、僅かながら向上しました。しかし特に順位が低く、各国中でジェンダーギャップが大きい分野は、改善傾向とはいえ前述のように賃金格差が大きい**経済**と、「男女共同参画ステディーズ2019」や本誌でも取り上げてきた**政治への参加**です。

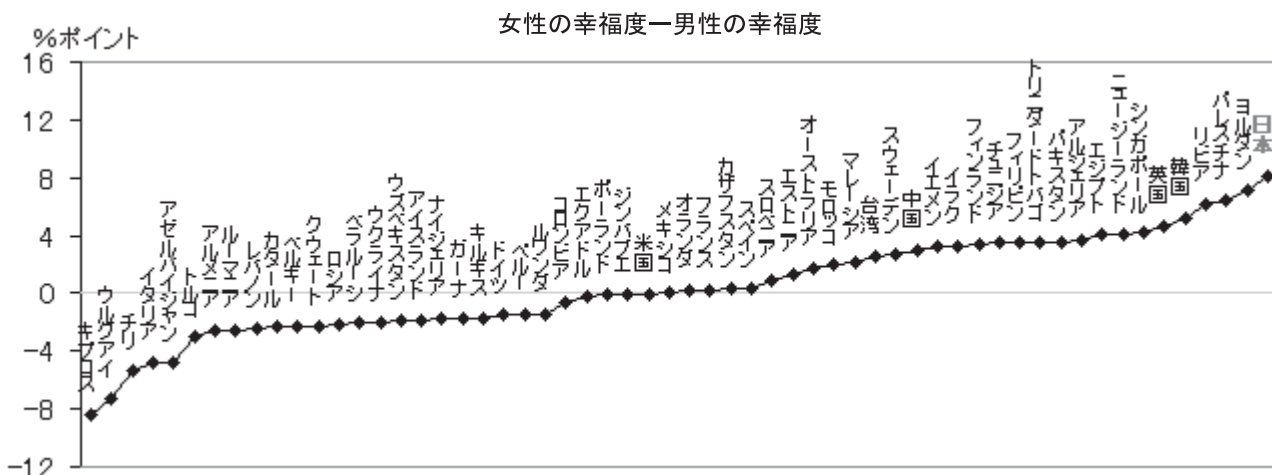


The Global Gender Gap Report 2018より作成（左軸：調査国数、右軸：順位）

男女の幸福度格差

ところが世界価値観調査（<http://www.worldvaluessurvey.org/>）の2010～2014のデータを見ると違う側面が見えてきます。

日本は**男性より女性のほうが幸福度が高く、男女の幸福度格差（女性の幸福度－男性の幸福度）が世界一**なのです。



WVS（世界価値観調査）Feeling of Happiness 2011-2014より（資料）社会実情データ図録

特集

データでみる ジェンダー格差と女性の貧困

この結果はこれまで多くの女性達と関わってきた実感と一致しており、女性一人ひとりの声を拾い、個々のニーズに丁寧に寄り添ってきた宝塚市立男女共同参画センター・エルの方向性は間違いなかったと再認識しました。格差解消の道のりはまだ遠いとはいえ、これまでの地道な取組により女性達は元気を得ていると信じています。

先に示したグローバルジェンダーギャップでは、日本では特に政治分野が125位、経済分野が117位という厳しい結果でしたが、ここ宝塚市では女性議員比率は38%を越えています。市民が女性を市長に選び、定数の4割近くの女性議員を選んでいます。

不安のない暮らしと、子どもたちの機会の平等のために

宝塚市立男女共同参画センター・エルでは今年度、起業・就労セミナーとして、シングルマザー、プレシングルマザー、テーマに関心のある方を対象に「シングルマザー応援！仕事と子育て 私のライフ＆マネープラン」を開催しました。ひとり親家庭相談員・キャリアコンサルタントの中野冬美さんと、女性とシングルマザーのお金の専門家 ファイナンシャルプランナーの加藤葉子さんにより、シングルマザーをサポートする制度や知識、教育費や奨学金の最新情報や家計管理のノウハウを学びました。

また、前ページの「男女の幸福度格差」からは、性別役割意識に縛られ、しんどさや生きづらさを感じている男性の姿が見て取れます。男性対象には、オフィスhintlink代表の榎本千里さんを講師に迎えたワーク・ライフ・バランス講座「男性のための時間と仕事の効率術」、マジックパパ代表の和田のりあきさんによるパパ講座「もっと気楽に！子育てを楽しもう！」「パパと一緒に☆コミュニケーションマジック」を11月から12月にかけて実施しています。

宝塚市立男女共同参画センター・エルは、これからもすべての人が個人として、性にとらわれず、自分らしくいきいきと充実した生活を送ることができる、互いに生きやすい宝塚市をつくっていくための施策の推進に努めます。

令和2年度（2020年度）利用登録グループ説明会

当センターを活動の拠点として、男女共同参画社会の実現を目指して活動する利用登録グループを募集します。登録を希望されるグループは説明会にご参加ください。

◆開催日時 2月3日（月）10：00～11：30

前半、長年シングルマザーの当事者団体でも活動されてきた中野冬美さんをお招きして、女性の貧困の現状について、お話いただきます。

講演「女性の貧困」

講師：中野冬美さん ひとり親家庭相談員・女性のための相談室もくもく共同代表

講演終了後グループ登録についての説明会を実施します。

講座案内

12月～3月

講座はすべて

参加費・保育は無料です

申込み電話番号：0797-86-4006

女性セミナー 1月6日（月）受付開始

2020年2月29日・3月14日（土）2回講座 各13：30～15：30

女性のためのグループワーク“つながり”のチカラ

「女性の活躍推進」の取組が行われるようになったものの、女性を取り巻く環境は依然厳しい現状です。そんな厳しい現状を乗り越え、女性たちが未来に向かってエンパワメントすることが出来たら…。一人ひとりが持つ力で、多様な女性たちの力で、世界を動かすことが出来るかも知れません。“女性”“つながり”をキーワードに、これまで女性と仕事をつなぐ活動を続けてこられた 佐々木妙月さんと一緒に、これからの“つながり力”を考えてみませんか。

- 講師：佐々木妙月さん（情報の輪サービス株式会社 代表取締役）
- 対象：テーマに関心のある女性 30人（先着順）
- 保育：10人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順

講座案内

12月～3月

講座はすべて
参加費・保育は無料です
申込み電話番号：0797-86-4006

男性セミナー 11月5日（火）から受付中

12月14日（土）10：00～11：30

パパと一緒に☆コミュニケーションマジック

みんなでワイワイ！ワクワク！するマジック（パピマジック）に挑戦してみませんか。
“マジックパパ”こと和田のりあきさんが、秘伝のマジック（?!）を、伝授します。
身近な物でマジック道具を手作りし、練習して披露してみましょ！

- 講師：和田のりあきさん
（マジックパパ代表/NPO法人ファザーリング・ジャパン関西 初代理事長）
- 対象：パパと子ども（小学生）15組（先着順）
- 持ち物：トランプ（なればお貸しします）
- 保育：10人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順

ほっとサロン 11月5日（火）から受付中

12月19日（木）10：00～12：00

わたしに戻る 読書の時間

情報・図書コーナーにある図書や雑誌を読んでリフレッシュ、子育てからちょっと一息、時には『ママ』から『わたし』に戻る時間を過ごしてみませんか。

- 対象：子育て中の女性 20人（先着順）
- 保育：15人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順

ほっとサロン 12月24日（火）受付開始

2020年1月16日（木）13：30～15：30

親子で楽しむキッズルーム

親子で一緒に♪ふれあいあそび寒い日の過ごし方

プレイルームでお子さんを遊ばせながら、気になることを話してみませんか。
♪キッズルームでお待ちしています♪

- 対象：乳幼児とその保護者 10組（先着順）
- 進行：NPO法人女性と子どものエンパワメント関西スタッフ

ほっとサロン 1月6日（月）受付開始

2020年2月5日（水）10：00～12：15

わたしに戻る 映画の時間 『マダム・イン・ニューヨーク』

（2012年/インド/134分）

英語が苦手なごく普通の主婦、シャシが仲間とともに英語を学んでいくうちに、夫に頼るだけの主婦からひとりの人間としての自信を取り戻していくが…。

『ママ』から『わたし』に戻って、エルで過ごすわたしだけの‘映画の時間’をどうぞ♪

- 対象：子育て中の女性 30人（先着順）
- 保育：15人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順

講座案内

12月～3月

講座はすべて
参加費・保育は無料です
申込み電話番号：0797-86-4006

こころとからだのリフレッシュセミナー 1月6日（月）受付開始

2020年1月30日、2月6日、2月13日（木）3回講座 各13：30～15：00

動きたくなるカラダづくり 姿勢体幹トレーニング

寒さでついつい首をすくめて、猫背が大猫背？になっていませんか？
寒い季節のトレーニングは効果満点！姿勢を良くするコツいっぱい！の姿勢体幹トレーニングで、“代謝UPながら運動”の達人に！トレーナーと楽しくからだを動かして、肩・腰スッキリ&気持ちスッキリ、ついでにリフレッシュできる90分×3回講座です。

- 講師：石山節子さん（あるくらぼ歩行研究所代表、理学療法士、トレーニングデザイナー）
- 対象：テーマに関心のある方 20人（先着順 全回出席できる方優先）
- 保育：10人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順

★センターフェスティバル2019★

特に記載のないものは どなたでも参加できます。
一時保育：定員10人（1歳～就学前まで）無料・要予約
保育申込締切 11月28日（木）

エルにあつまれ！ エルでつながれ！ 2019年12月7日（土）10:00～15:30

フリースペース 10：00～12：30 フリーマーケット 宝塚市立男女共同参画センター 利用登録グループ	☆ 展示 廊下壁面 10：00～15：30 宝塚川柳会 作品展示 宝塚川柳会	
☆ 喫茶 エルズルーム 10：00～14：30 喫茶 ひととき 宝塚市婦人会	☆ 朗読発表会 学習交流室1A・B 10：00～12：30 ひびきあう鼓動 伝え合う喜び ななつきの朗読会	
☆ 発表会 学習交流室2 10：30～11：30 宝塚の昔ばなし 民話の語り部 花あかり	☆ 朗読ライブ 学習交流室3・4 10：30～12：00 朗読 「伽羅」 グループ伽羅	
☆ 講座・ワークショップ フリースペース 13：30～15：30 スマホ決済 って何？ 宝塚情報ボランティアネットワーク	☆ 発表会 学習交流室1A・B 13：30～15：30 朗読《なすな》の文学を聴く 「賢治と聖子」 朗読なすな	
☆ 講座・ワークショップ 学習交流室2 13：30～15：30 コミュニケーション講座 親子関係の心理学 コーちゃんの会	☆ 講演会 学習交流室3・4 13：30～15：30 今も残る家制度下のしきたり・慣習を考える 宝塚男女共同参画センター連絡協議会	
☆ 音楽鑑賞 情報・図書コーナー 10：00～12：30 レコード鑑賞会 宝塚川柳会・センターフェスティバル実行委員会	☆ 体験会 フリースペース 10：00～12：30 川柳体験コーナー 宝塚川柳会	
折り紙（サンタクロース） ☆ 展示・体験 ●当日受付 子ども～大人まで センターフェスティバル 実行委員会	防災コーナー フリースペース 10：00～12：30 ～手作り簡単！防災グッズ～	フレンドシップキルト 展示 パープルリボン 配布 10：00～15：30 女性に対する暴力をなくす運動 宝塚市立男女共同参画センター

情報図書

情報・図書コーナーの新作図書からピックアップしてご紹介します。



●ストーカーとの七〇〇日戦争 内澤 旬子 文藝春秋 (2019/05)

2018年に週刊文春に連載されたストーカー体験の実話です。暴力や恐怖に曝されている時、人は判断力や行動力が著しく損なわれてしまう…。著者も文筆業を生業とし、都会から単独で島に移住し猟銃所持許可を持つほどの知性と行動力を持つ人でありながら、思わず「ダメー！」と叫びたくなってしまうような判断や行動を取ってしまうことも。DVやストーカー被害のサバイバーは、たとえ加害者が存在しなくなっても無傷には戻れないことを痛感させられます。著者の戦いは連載中どころか単行本として出版された現在も終わってはいません。作家であるために加害者によるネットの誹謗中傷等で一般人以上の被害を被ったともいえますが、本書を世に出すことにより、マスコミや社会の視線に守られてもいると思います。信頼できる専門家、支援者にたどり着いたことも最悪の状態を脱するために不可欠であったと思います。



●あなたを諦めない 藤敷 庸一 いのちのことば社 (2019/02)

和歌山県白浜町の切り立つ断崖絶壁「三段壁」。有名な観光地である一方、関西屈指の自殺の名所でもあるそうです。著者の藤敷庸一牧師は崖の上に設置された「命の電話」から自殺志願者が電話をかけてくるたびに駆け付け、夕暮れから翌朝まで説教を続け、保護し、妻や子どもと暮らす家に迎え入れ生活を共にします。これだけでも到底真似出来ない尊い行いですが、彼らの社会復帰、自立のための店「まちなかキッチン」を立ち上げ、「自殺を選ばない世代をつくる」子どもたちの居場所「コペルくん」を立ち上げ、NPO法人化し、とパワフルに活動を続けていきます。援助を与えるばかりではありません。元料理人、元経理部長など、保護したひとたちが経験を生かして牧師の活動を支えます。救助した自殺志願者は900人以上。世の中の不条理や人間の非道な行いに嫌気がさした時に読み直したい1冊です。



●君とまた、あの場所へ -シリア難民の明日- 安田 菜津紀 新潮社 (2016/04)

内戦前の活気ある街中や美しい風景の写真をめくると、2015年に海岸に打ち上げられた3歳の難民、アイラン・クルディちゃんの姿を描いたイラク北部ドホーク郡の看板が…。難民キャンプでたくましく生きる子どもたちや家族の暮らし、負傷して収容された病院で生き抜こうとする子どもや、家族との再会を祈る人びと。ヨルダンに向けて発つ日、安田さんは成田空港で、ISに拘束されていた後藤さんと湯川さん殺害の報を聞きます。残酷な用途に使われてしまったカメラと、命を切り捨てるかのような「自己責任論」。人間である限り争いはなくなるのかな…という安田さんの問いかけに対し、シリアの少年は「人間だからじゃないよ。そういうものだ」と諦めてしまう人の心がそうさせるんだ」と答えます。「日本は戦争もないしどこも攻撃しない国なんだろう？僕たちの国もいつか日本のようにしていきたいんだ」というシリアの少年の声に恥じない国であり続けなければなりません。

情報・図書コーナー

女性問題の解決や男女共同参画社会をめざすさまざまな活動をサポートする情報を収集し、発信しています。宝塚市外の方も借りられます。図書貸出は、[お一人5冊・2週間]です。

●初めて情報・図書コーナーを利用する方

図書の貸し出しやビデオ・DVDの視聴には「図書利用者カード」が必要です。初めて情報・図書コーナーをご利用される方は、名前と住所が確認できるものをお持ちください。すぐにカードを発行します。

施設利用案内



詳しくはセンター、またはセンターのHPで
<https://www.takarazuka-ell.jp/>
 電話番号：0797-86-4006

交流室等のご利用

センターでは、学習交流室（5室）とプレイルームを有料でお貸ししています。
 グループ活動・ミーティング・講演会等にご利用いただけます。
 活動内容・利用者の居住地により受付開始日や料金が異なりますので、詳しくは受付までお問い合わせください。
 ※営利を目的とした活動（「カルチャー教室」や「おけいこごと」の指導者による利用を含む）はご利用いただけません。



女性のための相談室

予約電話番号：0797-86-4006

電話相談	月・火・木・金・第2、第3、第4土曜 10時～12時/13時～16時	【直通電話】0797-86-3488 予約不要
面接相談	第2・第4水曜 10時～、11時～、12時～	(相談時間50分) 要予約
チャレンジ相談	第1水曜(原則) 11時～、12時～、13時～	(相談時間50分) 要予約
起業相談	第1・第3水曜 10時～、11時～	(相談時間60分) 要予約
法律相談	第1土曜(原則) (市民対象 原則1人1回限り) 14時～、14時45分～、15時30分～、16時15分～	(相談時間45分) 要予約

※電話相談以外はすべて保育あり（要予約） 年末年始及び祝日の全相談業務はありません。

セクシュアルマイノリティ電話相談

専用電話番号：0797-71-2136

毎週 水曜 15:00～18:00 (問い合わせ：宝塚市役所 人権男女共同参画課)
 (祝日・年末年始を除く)

自分の性や性的指向に伴う相談をはじめ、さまざまな相談に応じます。本人、家族、友人、教員など
 どなたでも相談できます。

宝塚市立男女共同参画センター・エル

宝塚市指定管理者

NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

開館時間：月曜日～土曜日（9:00～21:00）

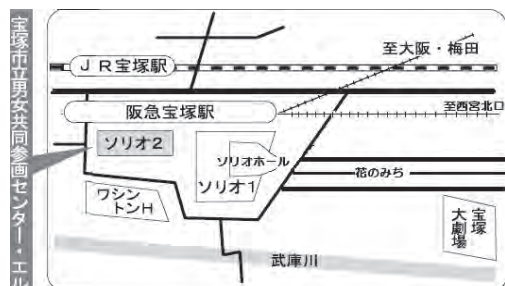
日曜日・祝日（9:00～17:00）

休館日：毎月第2日曜日・年末年始

〒665-0845 宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

TEL：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424

Facebook



メール：elsenternpo-empower@takarazuka-ell.jp

ホームページ：https://www.takarazuka-ell.jp/